

学者として成長できる対話が、
ここにある。

事業内容

研究者らが分野の壁を越えて研究テーマをぶつけ磨き合う**研鑽の機会**創出をねらいとし、チームで応募する賞金コンテスト型の研究奨励事業。
(主催：京都大学 学際融合教育研究推進センター)

審査基準

「物事の**核心**を突いている。ゆえにおもしろい」、かどうか。

応募対象

異分野研究者からなる**チーム形式**で応募（学外者の参画もOK） 応募対象とする**分野は一切不問**。

昨年度の応募者情報

教授10%、准教授33%、講師10%、助教30%、
研究員17%（学生、院生は本学教職員を代表者とするチームメンバーとして応募可）

審査プロセス

提出書類は**A3ポチ絵1枚のみ**。多分野・多業種からなる30名程度による本音での**覆面書面審査**（申請者情報は掲示しない）。書面審査通過チームはキュレーターと内容を練り上げて最終審査へ。最終審査は**5分間プレゼン後、ポスター発表形式**で審査員および参加者全員が投票

最終審査会審査員

山極総長他学内4名、産業界有識者等学外4名程度

研究奨励支援金

(用途制限なし*、使用期限なし*)

最優秀賞100万円、優秀賞50万円、奨励賞20万円(2組)、総長賞50万円 *研究推進の目的下にて

★事業説明会&受賞経験者によるプレゼン、応募希望者マッチング交流会

5月20日金17:30～吉田キャンパス国際イノベ棟
(裏面のサイトより参加申し込み)

★コンテスト応募希望者マッチング交流会 (@分野横断交流会)

第1回 5月31日火、第2回 6月28日火 いずれも
18:30～吉田キャンパス 国際交流セミナーハウスにて
(裏面のサイトより参加申し込み)

募集開始

5/9～7/29

京大式 研鑽型研究奨励事業(学内向け)

第4回 京都大学 学際研究着想コンテスト2016

昨今、学問の細分化が叫ばれて久しい。
 しかしそういった中でも学術分野間の壁などもろともせず、
 この世を構成しうる体系の本性を突き、
 前例にとらわれない大胆な研究構想(思想)を描く。
 たった A3一枚の概念図(いわゆるポンチ絵)でその極みを表現し、
 分野を超えた研究者たちの知的探究の対話場をここに開催します。

「ひと」を知りたきやまずしっぽを見よ!

失われた器官への多角的アプローチで「人」を追求
(2015年 最優秀賞)

私はこれまで自身の興味関心としてずっと長年「しっぽ」を思い求めてきました。実際、文系から自然人類、動物発生に進みましたが、論文や学会発表ではどうしてもその領域内に留まらざるをえませんでした。今回のコンテストでは、生物学だけでなく、民族や心理、哲学など、おもいきり自分の好奇心を満たすことができ、仲間集めに始まり、審査員のするどいつこみ、キュレーターとの作りこみなど、いろんな人・分野とのぶつかりを通じて本当に自分の研究が深まりました。



東島 沙弥佳 (理学研究科、研究員)

人はなぜ森で感動するのか

その多面性から本質へ

(2014年 最優秀賞)

本来の研究は生態のシミュレーション系ですが、幅広い研究活動が必要と考え、これまでやってきたアートや心理、哲学、宗教との連携をもとにして研究テーマを練りました。結果的に賞を頂き、その自由な資金を使って、(学会発表ではなく)アートの展覧会での発表、独自研究会の主催(後に科研費獲得につながった)など、制度に囚われない研究活動を後押ししてくれました。総長も参画する京大のコンテストでの受賞はインパクトも大きく、インタビューWeb記事などに発展していったことがうれしいです。



伊勢 武史 (フィールド科学教育研究センター准教授)

その他の感想

- 年度をまたげる用途制約のほぼない研究支援金は大変うれしい ● 科研費や競争的資金のようなまとまることを前提とした提案ではなく、本当に自分が面白いと思ひ、面白いよねと言ひ合ひる仲間との出合ひをもとに、どんどん可能性を追求できた ● 一次書面審査での本音ベースの審査結果は今後の研究にすぐ役立つものだった ● キュレーターとのコンセプトを磨く作業は、普段の研究指導と全く別物。見せ方も学んだ ● 研究の最も基本的なアイデアについて他人の意見が賞え、それを洗練させることが出来る点が一番の価値だった ● 最終発表会は“競争”ではなく、皆で楽しむ雰囲気。京大ならではの。

募集
開始

5.9

申請はA3サイズ
ポンチ絵1枚

募集
締め切り

7.29

書面審査
結果発表

8.31

ブラッシュアップ期間

書面審査通過チーム(12組程度)は、
書面審査員のコメントをうけてキュ
レーターと打ち合わせを重ねる

最終
審査会

11.1火

5分プレゼンの
後、学会ポス
ター発表形式

申請支援等

- 応募したいが他分野の研究者に知り合ひがない、という方向けに別途「**チームメンバー募集**」のマッチングサイト開設
- 申請前に**事前相談窓口**を設置。申請内容やポンチ絵デザイン等についてアドバイスを
- 異分野とのミーティング支援として「**はじめての異分野合同プロジェクト：ガイドブック**」を提供。下記サイトよりDL自由!

京都大学 学際融合教育研究推進センター

<http://www.cpier.kyoto-u.ac.jp/>

より詳細な募集要綱、過去の受賞テーマ、ポンチ絵、申し込みは、すべて上記サイトより